# 平成17年6月中間期　会社説明資料

平成17年8月

鉄鋼・建設資材で未来を創造する
初穂商事株式会社

JASDAQ 7425

# 会社のプロフィール



平成17年8月現在

| | |
|---|---|
| 商号 | 初穂商事株式会社 |
| 本社 | 名古屋市中区錦二丁目14番21号 |
| 代表者 | 代表取締役社長　斎藤　悟 |
| 設立 | 創業　昭和21年2月1日<br>設立　昭和33年12月18日 |
| 資本金 | 885百万円 |
| 売上高 | 15,764百万円 |
| 従業員 | 185人 |

# 会社の沿革



| | |
|---|---|
| 昭和33年12月 | 鉄鋼二次製品、合成樹脂及び非鉄金属製品の販売を目的として資本金5,000千円で名古屋市千種区に初穂商事株式会社を設立 |
| 昭和59年1月 | 名港流通センターを設立、軽量鋼製下地材の販売を開始（現名港営業所） |
| 昭和61年9月 | 静岡市に静岡営業所を設置 |
| 昭和63年4月 | 富山県射水郡小杉町に北陸営業所を設置 |
| 平成2年8月 | 愛知県春日井市に春日井流通センターを建設し営業を開始（現春日井営業所） |
| 平成2年9月 | 愛媛県松山市に四国営業所を設置 |
| 平成3年10月 | 長野市に長野営業所を設置 |
| 平成4年8月 | 愛知県豊川市に豊橋営業所を設置 |
| 平成4年9月 | 広島県福山市に福山営業所を設置 |
| 平成6年7月 | 新潟県長岡市に長岡出張所を設置（現長岡営業所） |
| 平成7年1月 | 日本証券業協会に株式店頭登録 |
| 平成7年8月 | 埼玉県川口市（現さいたま市）に埼玉営業所を設置 |
| 平成7年10月 | 福岡県大野城市に福岡営業所を設置 |
| 平成9年11月 | 福井県福井市に福井営業所を設置 |
| 平成9年12月 | 岡山県岡山市に岡山営業所を設置 |
| 平成10年8月 | 外壁材の販売を強化するため株式会社オカダコーポレーション（現子会社）を設立 |
| 平成14年12月 | リフォーム事業を強化するため株式会社タンポポホームサービスの全株式を取得（現子会社） |
| 平成16年9月 | 神奈川県横浜市に横浜営業所を設置 |
| 平成16年12月 | 日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場 |

# 事業内容



　当企業集団等は、当社及び子会社3社、関連会社1社により構成されており、事業は軽量鋼製下地材、石膏ボード、建築金物等の鉄鋼二次製品の販売、リフォーム業、線材加工、外壁材の販売及び取付け施工、運送業を行っています。

当社（鉄鋼二次製品の販売）
　軽量鋼製下地材・建築金物・エクステリア・鉄線・溶接金網・ＡＬＣ金具副資材・カラー鉄板・窯業建材金具副資材

株式会社タンポポホームサービス（建設業）
　新築・増改築・リフォーム

大橋鋼業株式会社（線材加工）
　線材製品の加工

株式会社オカダコーポレーション（外壁材の販売及び取付け施工）
　ＡＬＣ取付け施工

三宝運輸株式会社（運送業）
　当社商品の配送

# 平成17年6月中間期　決算概要

鉄鋼・建設資材で未来を創造する
初穂商事株式会社

# 平成17年6月中間期の総括



　建設業界におきましては、公共工事の減少が続く中、企業収益の回復を背景に、工場新設など民間建設需要が増加し、住宅投資においても底堅い動きが見られました。しかしながら、受注競争による低価格の流れは変わらず、収益が圧迫され依然として厳しい経営環境にありました。

　このような状況の中、当社は総力を挙げて利益拡大のために、販路拡大とビル内装市場の販売を強化し、売上高の伸長に努めるとともに、経費抑制をはじめとする諸施策を推進してまいりました。

# 損益計算書

初穂商事株式会社

（単位：百万円）

| | 17年6月中間期 | 16年6月中間期 | 前期比 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 8,156 | 7,507 | 108.6% | 企業収益の回復を背景に民間建設需要の増加が主因 |
| 売上原価 | 6,755 | 6,170 | 109.5% | |
| 販売費及び一般管理費 | 1,185 | 1,154 | 102.7% | |
| 営業利益 | 214 | 182 | 117.7% | 売上高増加に伴う売上総利益の増加が主因 |
| 営業外収益 | 36 | 25 | 142.3% | |
| 営業外費用 | 6 | 5 | 120.0% | |
| 経常利益 | 244 | 202 | 120.5% | |
| 特別利益 | 42 | 0 | --- | 貸倒れ金の減少により貸倒引当金戻入 |
| 特別損失 | 22 | 0 | --- | |
| 中間（当期）純利益 | 155 | 102 | 151.1% | 営業利益及び特別利益の増加 |

# 貸借対照表

初穂商事株式会社

| （単位：百万円） | 17年6月中間期 | 16年6月中間期 | 比較増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 流動資産 | 7,291 | 6,684 | 607 | 売上高の増加に伴い受取手形が176百万円、売掛金が220百万円それぞれ増加又、値上げ対応のためたな卸資産92百万円増加 |
| 固定資産 | 3,855 | 3,863 | △ 8 | |
| 資産合計 | 11,147 | 10,548 | 599 | |
| 流動負債 | 5,706 | 5,535 | 170 | |
| 固定負債 | 559 | 356 | 203 | |
| 負債合計 | 6,265 | 5,892 | 373 | |
| 資本金 | 885 | 885 | 0 | |
| 資本剰余金 | 1,316 | 1,316 | 0 | |
| 利益剰余金 | 2,662 | 2,443 | 219 | 中間純利益の増加 |
| 資本合計 | 4,881 | 4,656 | 225 | |

# キャッシュ・フロー計算書

初穂商事株式会社

（単位：百万円）

| | 17年6月中間期 | 16年6月中間期 | 比較増減 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | △ 426 | △ 298 | △ 128 | 税引前中間純利益　264百万円<br>売上債権の減少　353百万円<br>仕入債務の減少　894百万円<br>法人税等支払額　171百万円 |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △ 53 | △ 94 | 40 | 有形固定資産の取得　22百万円<br>無形固定資産の取得　30百万円 |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △ 73 | △ 76 | 2 | 長期借入れによる収入　200百万円<br>長期借入金返済　229百万円<br>配当金の支払額　42百万円 |
| 現金及び現金同等物の<br>増加額 | △ 554 | △ 469 | △ 85 | |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高 | 1,428 | 1,253 | 174 | |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高 | 873 | 784 | 89 | |

# セグメント別売上高



（単位：百万円）

| セグメント | 17年6月中間期 | | 16年6月中間期 | | 比較増減 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 売上高 | 構成比 | 売上高 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| 軽量鋼製下地材・不燃材 | 5,439 | 66.7% | 4,974 | 66.3% | 465 | 9.4% |
| 建築金物・エクステリア | 1,132 | 13.9% | 1,085 | 14.4% | 47 | 4.4% |
| 鉄線・溶接金物 | 551 | 6.8% | 503 | 6.7% | 48 | 9.7% |
| ＡＬＣ金具副資材 | 436 | 5.3% | 403 | 5.4% | 33 | 8.2% |
| その他 | 595 | 7.3% | 541 | 7.2% | 54 | 10.0% |
| 合計 | 8,156 | 100.0% | 7,507 | 100.0% | 648 | 8.6% |

| | |
|---|---|
| 軽量鋼製下地材・不燃材 | 工場の新設やマンション向け需要が好調のうえ、リニューアル工事向け需要も順調に推移したことにより増加いたしました。 |
| 建築金物・エクステリア | 新設住宅着工が底堅く推移したことなどにより増加いたしました。 |
| 鉄線・溶接金物 | マンション建築の好調が続いたことなどにより増加いたしました。 |
| ＡＬＣ金具副資材 | 民間建設投資が活発化し、商業施設建設が伸びたことなどにより増加いたしました。 |

# 平成17年12月期　業績予想

鉄鋼・建設資材で未来を創造する
初穂商事株式会社

# 平成17年12月期　業績予想



| （単位：百万円） | 17年12月期予想 | 16年12月期実績 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 16,500 | 15,764 | 4.7% |
| 経常利益 | 489 | 482 | 1.5% |
| 当期純利益 | 262 | 221 | 18.6% |
| EPS（円） | 60.90 | 48.68 | 25.1% |
| ROE | 5.4% | 4.7% | 0.7 |

EPS＝1株当たり当期純利益
ROE＝株主資本利益率

在庫調整で遅れていたデジタル関連を中心に工場建設の回復が見込まれます。中部圏においては、超高層ビルを建設する市街地再開発事業が相次いで具体化しております。又老朽化した建設の建て替えなどの需要が期待されます。

コンピュータシステムの再構築を進めてまいりましたが5月に本稼動いたしました。業務の生産性向上、事務コストの低減等一層のコスト削減に取り組み、利益確保に努力してまいります。

# 経営方針と今後の取り組み



## 経営方針

当社は、創業以来、常にお客様の立場から、鉄鋼を中心とする建設資材の専門商社としての理想的な企業を追求してまいりました。

ユーザーニーズにきめ細かく対応する小ロット・ジャスト・イン・タイムの配送体制を武器に、地域に密着した供給サービス体制を強化し、豊富な品揃えと迅速・確実なデリバリー体制を更に強固なものに推し進めてまいります。

価値観が多様化している現代社会において、人間にとって真の豊さとは何かを問われている中で、建設資材を通し「快適な暮らしへの希求」を企業理念に、社会への貢献を着実に果たしていきたいと考えております。

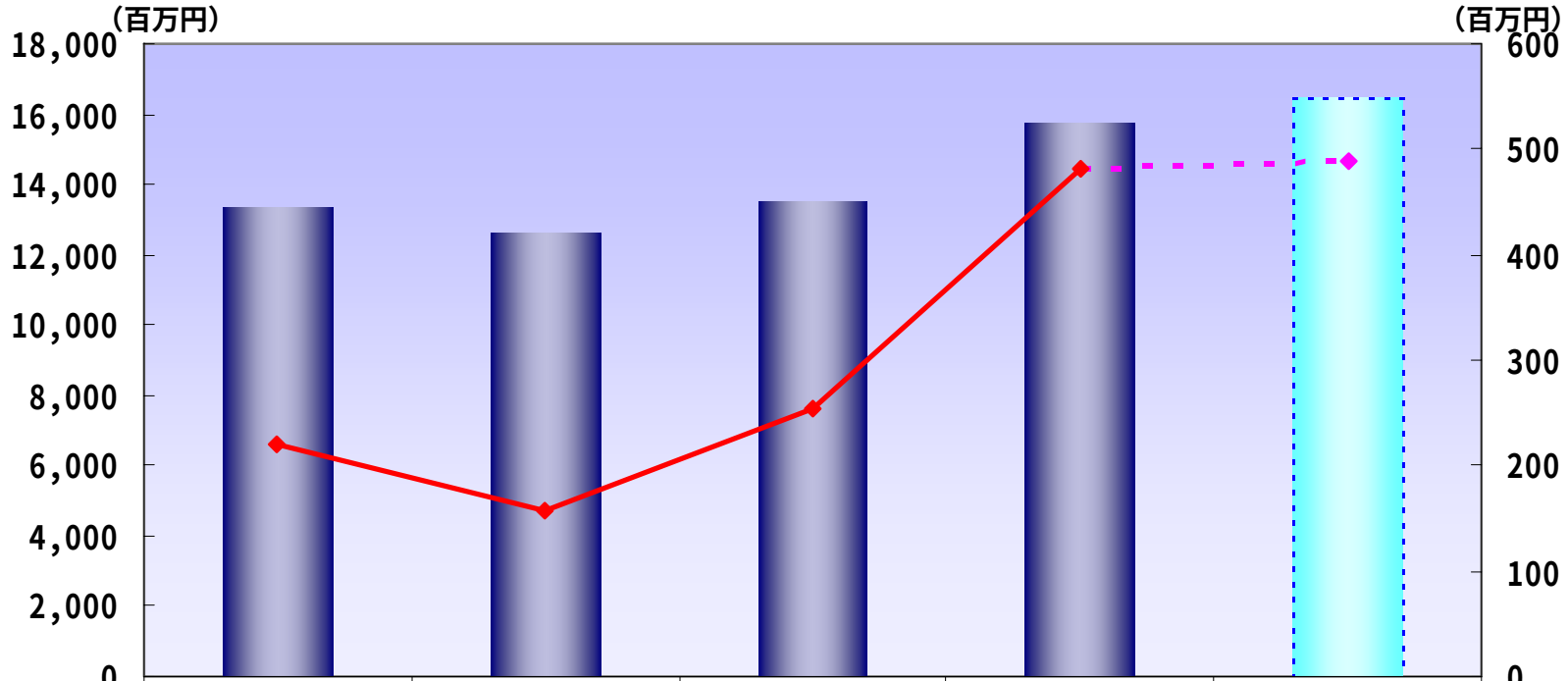
## 今後の取り組み

今後は、営業所網の拡充と取り扱い商品の多様化を図りながら、市場拡大を目指すとともに、新規事業分野への進出も検討してまいります。

また、コンピュータシステムの再構築を進めてまいりましたが、本年5月に本稼動いたしました。今後は、更なる業務の生産性向上、事務コストの低減やお客様ニーズに応えるための情報活用を図り、市場競争力を強化してまいります。

# 売上高・経常利益の推移

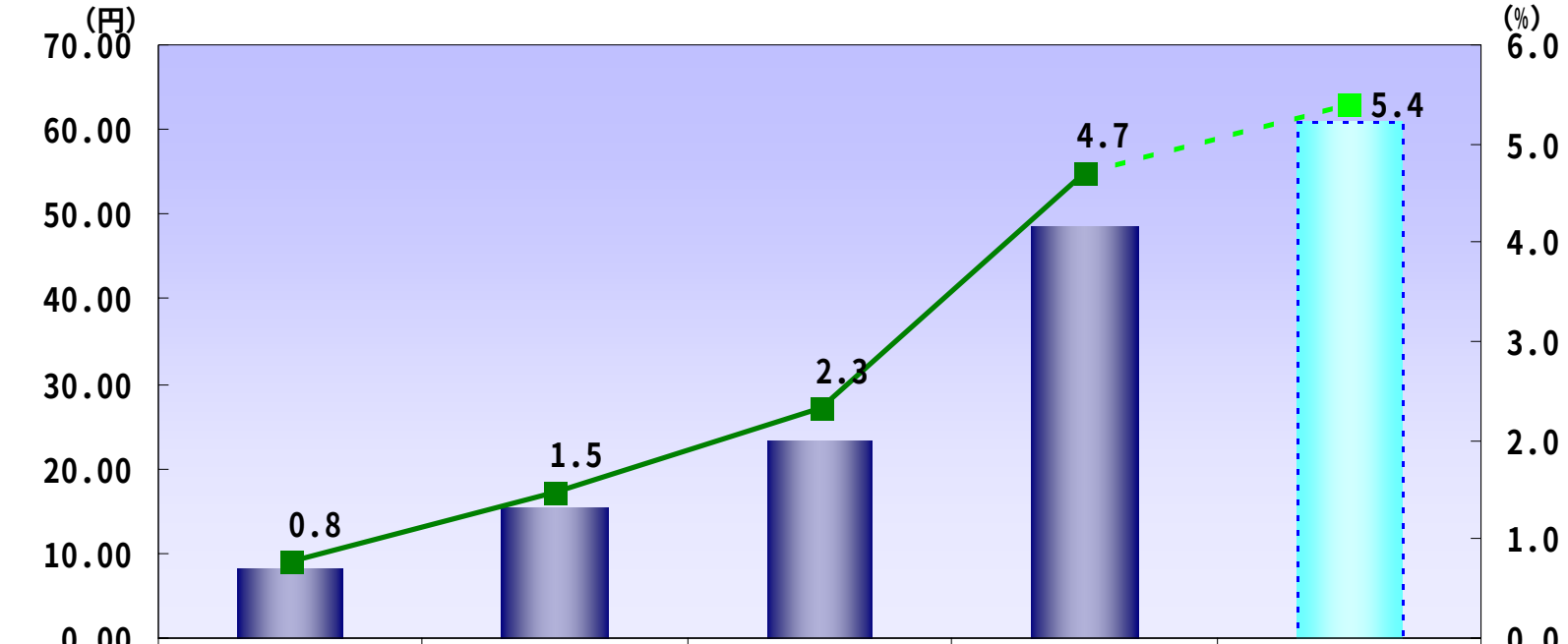





| | 13年12月期 | 14年12月期 | 15年12月期 | 16年12月期実績 | 17年12月期予想 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 13,337 | 12,639 | 13,496 | 15,764 | 16,500 |
| 経常利益 | 221 | 158 | 253 | 482 | 489 |

# EPS・ROEの推移






| | 13年12月期 | 14年12月期 | 15年12月期 | 16年12月期実績 | 17年12月期予想 |
|---|---|---|---|---|---|
| EPS | 8.16 | 15.47 | 23.33 | 48.68 | 60.90 |
| ROE | 0.8 | 1.5 | 2.3 | 4.7 | 5.4 |

EPS＝1株当たり当期純利益

ROE＝株主資本利益率

# 本資料に関するお問い合わせ



鉄鋼・建設資材で未来を創造する
初穂商事株式会社

**管理本部**

TEL　：　052ー222ー1066
E-mail　：　a.takano@hatsuho.co.jp